

救急自動車への医師同乗に関する協定調印式

県 央地域広域市町村圏組合と国立病院機構長崎医療センターが、救急車への医師同乗に関する協定を締結し、運用を開始しました。実働している救急車に同乗するシステムは全国初。大村市と諫早市の一部を中心に出勤し、救命率の向上などにつなげます。



←救急車への医師同乗に関する協定を締結

2/27

全国救命初率の向上へ向けた取り組み

ねんりんピック長崎2016市実行委員会総会

ね んりんピック長崎2016大村市実行委員会総会を市コミセンで開催しました。総会では、昨年開催された「ねんりんピック長崎2016」の成果などを報告。大会にご協力いただいた市民の皆さんや、委員の皆さんに感謝するとともに、約2年の活動に幕を閉じました。



←実績報告や決算議案などの審議を行いました

2/14

大村市実行委員会解散

緊急登庁支援協力に関する協定締結式

緊 急登庁支援協力に関する協定を市内の自衛隊3部隊と締結しました。同協定を自衛隊と結んだのは県内初。災害派遣などの緊急時に、市内の保育施設や子育てに関する情報を部隊に提供することで、子育て世代の隊員の負担軽減を図ります。



←市内3部隊と協定書を交わしました

3/9

災害派遣隊員の負担軽減を目的とした自衛隊との協定

郷土史講演会

郷 土史講演会をプラザおおむらで開催しました。熊本大学准教授の安高啓明氏を講師にお迎えし、「禁教史における大村郡崩れの意義」と題してご講演いただきました。講演後は、パネルディスカッションも行われ、会場に集まった皆さんは潜伏キリシタンの実態に迫る話に熱心に耳を傾けました。



←パネルディスカッションで熱く意見交換

2/18

郡崩れの意義や潜伏キリシタンの実態などに迫る

産業支援セミナー

7 月開設予定の大村市産業支援センター(O-biz)の周知を図るため、プラザおおむらで産業支援セミナーを開催し、多くの事業者や市民が参加しました。富士市産業支援センター長の小出宗昭氏を講師にお招きし、相談に来た事業者の成功事例などを紹介しながらご講演いただきました。



←興味深い話に参加者から多くの質問が出ました

3/11

大村市の地方創生実現に向けて

国道34号大村・諫早間整備促進期成会要望

国 道34号大村・諫早間整備促進期成会は、県選出国会議員や、国土交通省に対して要望活動を行いました。一行は、「国道34号大村～諫早の新規事業化」について、整備がもたらす地元への長期経済効果などを強く訴えました。今後も引き続き県などと連携し、早期事業化を目指します。



←国土交通省の石川道路局長へ要望書を提出

2/22

国道34号大村～諫早の新規事業化を国へ要望